

あなたと議会をむすぶ

議会広報

平成25年8月
第135号

あじがさわ

発行…青森県鰺ヶ沢町議会 〒038-2792 青森県鰺ヶ沢町本町209-2 編集…議会広報編集委員会 ☎0173②2111(代)

この広報は再生紙を使い、議員の自主編集で発行しています。



4年に一度の伝統行事である白八幡宮大祭が8月14日から16日まで開催されました。写真は、14日に行われた御神輿渡御行列(おみこしとぎょぎょうれつ)の1コマです。北前船交易による上方文化の影響を色濃く残し、津軽の京祭りとも呼ばれる白八幡宮大祭は、8月14日、青森県無形民俗文化財に指定されました。

6月議会
定例会号

2

6月定例会のあらまし
第2回・3回臨時会

3～7

一般質問(5議員)

8

まち再生のために—この人に聞く—

学生力を借りて地域振興 域学連携地域活力創出モデル事業二五〇〇万円を承認

平成二十五年第二回定例会が、六月六日から六月十二日までの日程で開催されました。十一日には、一般質問が行われ、五名の議員が町政における諸問題について町側の答弁を求めました。最終日の



十二日には、総括質疑、討論・採決が行われ、域学連携地域活力創出モデル実証事業の専決処分などの議案八件、報告二件がいずれも原案どおり全会一致で可決、承認されました。



6月定例会初日の本会議

六月定例会で提案された主な議案及びその内容は、次のとおりです。
■鯉ヶ沢町子ども・子育て会議条例の制定
子ども・子育て支援法

の規定に基づき、町が実施する子どもに関する施策等について調査審議することを目的に制定したものの。
■町一般職の給与に関する条例の一部改正

東日本大震災の復興等に対処するため国家公務員の給与減額措置がされたことに伴い、職員の給料及び期末手当の割合を特例期間において引き下げるもの。

■専決処分(第九号)
平成二十五年度町一般会計補正予算(第二号)

域学連携地域活力創出モデル実証事業一五〇〇万円の増額補正。
※域学連携地域活力創出モデル実証事業とは
同事業は、総務省の補助事業(百パーセント補助)で、大学生と大学教員等が地域住民とともに地域の課題解決や地域づくりに継続的に取り組み、地域の人材育成及び地域の活性化を図ることを目的に今年度創設されたものです。

町では、この事業を活用し、今後、大学生の協

力を得て地域資源の発掘、産業創出、観光を通じた地域活性化などに取組み、一五〇〇万円の予算は、学生の滞在費等に充てられます。
■平成二十四年度町一般会計予算繰越明許費繰越計算書(報告)
二十五年度に繰越した事業は次のとおり。
・保木原広岡線道路改良事業 二一三〇万円
・防災行政無線親卓等改修事業 五五八〇万円
・農業用施設災害復旧事業 三五四万九千円

※繰越明許費とは
何らかの理由により、その年度内に支出を終わらない見込みがある経費を、翌年度に繰り越して使用することができるように議会の議決を経て定める予算のこと。

第二回・第三回臨時会 除雪重機二台を購入

平成二十五年第二回臨時会が五月十四日、第三回臨時会が七月十七日に

措置。補正額三五九万円。

行われ、両臨時会に提出された議案は、審議の結果、全会一致で可決、承認されました。

■農業委員会委員の推薦
町議会として農業委員会委員に松山重一氏(姥袋町)を推薦。
◎第三回臨時会
■財産の取得
○ロータリ除雪車の購入
仮契約業者 (株)青工 五所川原支店。
仮契約額 三三三三万円。

◎第二回臨時会
■専決処分
平成二十四年度一般会計補正予算(第九号)

○除雪ドーザの購入
仮契約業者 (株)K C M J 青森営業所 弘前工場。
仮契約額 二二〇五万円。

地方交付税、地方譲与税が決定したことによる予算措置。歳入、歳出それぞれ五七〇九万円を減額。

・平成二十五年一般会計補正予算(第一号)
大雪により損壊したミ二白神くろもり館の屋根等の修繕工事に係る予算

※この二つの除雪重機は、社会资本整備総合付金(新規購入は三分の二の補助)を受けて、購入するものです。



鶴田 悦子議員

短命の町返上を

〈答〉健康を重要なテーマに掲げて事業を展開

ということになります。

問・十七年度の生命表では、鱒ヶ沢町の男性は、市町村別で全国でワーストワーンです。

短命の原因は何だと思えますか。

答弁・健康ほけん課長

生活習慣、自然環境などいろいろなことが考えられますが、鱒ヶ沢町の場合、昭和五十年から平成二十二年まで最下位であり、鱒ヶ沢町の男性は、全国の最下位グループになっています。鱒ヶ沢町の死亡率は、どうなっていますか。

答弁・健康ほけん課長

平成二十三年のデータでお答えしますと、鱒ヶ沢町の千人当たりの死亡率は、十五・五パーセント、青森県が十二・一パーセント、国が九・一パーセントとなっています。これからいけますと鱒ヶ沢町はかなり短命だ

して町民の元氣推進を図るため、健康を重要なテーマに掲げて取り組みを行っています。

主な対策として掲げていることは、二つあります。一つは、町民の健康に対する意識の高揚を図ることです。

具体的な取り組みとしては健康講演会、健康教育、広報、各種集会、イベントでの啓発活動、また、疾病等の予防と早期発見の取り組みです。

二つめは、保健推進員等を活用した健診受診の啓発、休日検診の実施、特定健診の無料化、要精検者への訪問指導の強化などです。

また、壮年層をターゲットとした健康運動指導、自殺予防策などについても取り組みを行っています。

成果ですが、項目ごと

に成果を挙げるといこうとは困難ですが、成果として一つ挙げられるのは、平成二十年度に比べ、平成二十四年度までの健診の受診者が、特定健診で二百七十一人、胃がん健診で八十人、大腸がん健診で百五十九人、数が伸びています。これによって、がんの早期発見につながっているということが挙げられると思います。

町民の健康対策事業は

問・生活習慣、健康に関することに対してどのような方法が効果的であると考え、あるいは実践していますか。

答弁・健康ほけん課長

町としては、町民の健康に対する意識をいかに高めていくかが大きな課題だと考えています。こうしたことから一つの

取り組みとして、平成二十四年度から弘前大学の協力を得て、中学校二年生を対象とした生活習慣病健診と、その結果をもとに親子面談を行う親子プロジェクトを実施しています。

答弁・教育課長

この健診は、成人前の子供たちに、血圧測定、血液検査、骨密度検査などを実施し、家族ぐるみで生活習慣の改善をしてもらうことを目的に行っているものです。昨年の結果では、受診した生徒の八十人中六十五人に何らかの異常が見つかり、保護者からは、子供の健康は親の責任であるなどの意見が寄せられ、大変反響がありました。こうしたことから今年度は対象を三年生までに広げ、健診のフォローとあわせ、栄養教室、健康教室なども実施しているところですが、

健康教育の

現況は

問・町内の小中学校の健

康教育の現況をお知らせください。

健康ほけん課長の答弁と重複しますが、中学校では、二年生を対象に家族ぐるみで食生活や生活習慣の改善をねらいとする取り組みである親子プロジェクト事業を行っています。食生活の乱れや夜更かし、また、運動不足から従来成人病と言われていた症状が子供たちにも見られるようになってきました。予防の観点からも早い取り組みは必要だと思えます。この事業は今年度あじがさわ未来応援基金を活用して継続していくことになっています。意見・日本一長寿の長野県の資料を見ると、繰り返し繰り返し行政側が町民と接していることが手に取るようにわかります。ただやったからいいわけではない。わかってもらうようにする。大変だと思いますが、頑張りたいと思います。



齋藤 孝夫議員

結婚推進事業の 取り組みは

問・いろいろな状況下で結婚できない人が多くいると聞きます。

今、自治体で結婚推進に取り組んでいるところもありますが、このことについて当町の方針をお聞きます。

答弁・政策推進課長

鱈ヶ沢町でも昭和六十年代からこの問題に取り組んでいます。当時、五地区に五人ずつ結婚相談員を委嘱し、相談、対象者の仲介などの業務に携わっていただきました。

取り組みの結果、二、四組結婚に至っていますが、その後ほとんど効果が上がっていないということ、現在はその取り組みを行っています。この問題については、

優秀な保育士の配置換えは何のためか 〈答〉 将来のこども園開園に向け対応

非常にプライベートな部分に及ぶところが大きく、また、今、個人情報扱いが非常に難しくなっていますので、町として現段階では、この取り組みを行うことは考えていません。

意見・実際、深浦町では、役場を挙げてそういう活動をやっていましたし、県をはじめいろいろな自治体でそのような活動を一生懸命やっています。

なかなか知り合う場所がないという農家の方、漁師の方がいるわけですからやる気を持ってもらいたいと思います。

K2付近十字路の 安全確保を

問・舞戸のK2付近の十字路は、みどり団地からの道路も開通し、交通量も多く、朝の通学時は、低学年の子供を持つ親に

とって心配な場所の一つです。安全に通学できるように、交通指導員的な人を配置できないか答弁を求めます。

答弁・教育課長

通学路の危険箇所は、保護者などの意見を聞き、それをもとに教育委員会が主体となって学校、道路関係者と連携して合同点検を行っています。

ご指摘のK2付近の場所は、昨年度の報告書では、要注意箇所として報告されていますが、バイパス道路で交通量も多いため必要ないか考えています。

職員採用の 合否判断は

問・職員の採用について、合否の判断はどのように決めているのかお知らせ

ください。

答弁・総務課長

職員採用の判断基準ではありませんが、職員の採用は、町村会に依頼して採用試験を実施した結果、第一次合格者を決定し、その後、面接、作文の試験結果に基づいて最終決定をしています。

面接は、協調性、堅実性など五つの項目を設定し、評価を五段階としています。

問・職員は、町の財産でもあります。透明性をもって公平に採用に当たっていただきたいと思いますが、町長はどのように考えていますか。

答弁・町長

消防の場合は、筆記試験のほかに体力試験があり、筆記試験が優秀であっても採用になっていない人は実際にいますが、職員の採用については、

平等にやっているつもりです。

保育士の配置換えの理由は

問・長年、保育所で働いてきた優秀な保育士が畑違いの一般事務に配置換えされているのは、何のためなのかお聞きます。

答弁・総務課長

平成二十三年度に鱈ヶ沢保育所を直営で運営するという方針を受け、保育士の高年齢化が顕著になっていることから保育士の庁舎異動と併せ、保育士を採用していますが、(配置換えは)年齢のバランスを考え、保育士の若返りを図っていくという事です。

問・町長は、当初当選したころ会社経営の手腕を町政に生かすといっていました。今でもその思いは同じですか。

答弁・町長

私は、保育所は直営でやると。そして、今考えていることは、こども園にしていきたい。いわゆる

る幼稚園と保育所を一緒にしたいと考えています。

そうならば、幼稚園と保育士の両方の免許を持つている人を採用したほうが有利になります。

来年、こども園に持っていくという考えもあり、年配の人を役場に配属し、新しい若い人を保育士に採用しているということもありますので、その辺を理解していただければと思います。

TPPに対する 考えは

問・TPP、環太平洋経済連携協定について、町長の基本的な考えをお聞きます。

答弁・町長

TPPについては、まだ国益の証明がはっきりしていません。

TPPというのは、農業だけでなく品目がある二十二、三項目あるようですが、町の基幹産業である農林漁業を守る立場で言えば、今の時点では反対です。



世永 富也議員

消防署の移転場所は 〈答〉候補地の中から今年中に判断〉

休廃施設の今後の 対策及び計画は

問・町では、現在、拠点館や学校等、多くの休廃施設がありますが、今後解体撤去するのか、改修して再利用するのか、保存、伝承していくのか、方針をお聞かせします。

また、管理方法とその費用はどうするのか町当局の考えを示していただきたい。

答弁・総務課長

閉校した学校の利活用について申し上げます。

芦菴小学校については、倒壊状態にある校舎は、二十六年度に解体し、飛散しないように一時保管することを検討しています。浜横沢小学校も同様です。

赤石小学校は、日本一長い廊下として知名度が

ありますので、引き続き利活用を検討していききたいと考えています。

南金沢小学校は、避難場所として利用しながら引き続き利活用を検討していききたいと思っています。

第二松代分校は、将来的に解体、撤去で検討していきます。

なお、解体、撤去は、財政状況を見ながら進めていきたいと考えています。

問・拠点館はどうなるのですか。

答弁・総務課長

拠点館は、相当な改修費がかかりますので、現在のところ改修する計画はありません。

問・拠点館は、見通しがないということですね。

答弁・町長

拠点館は、今、再開すれば二億ちよっとかかり

ます。これも延ばし延ばしにしておけばだんだん予算がかかってくるというところで、私は一日も早い再開を考えています。できれば、三年くらいで再開したいという思いでいます。

将来の街づくり 構想は

問・将来の街づくりの構想についてお尋ねします。

人口の減少、少子高齢化、施設の老朽化、防災対策等を考慮し、対策を策定すべきだと思います。

私たちが生まれ育ったふるさとをどのような形で次の世代へ引き継ぎたいか、時期、また、その可能性についてお聞かせします。

答弁・政策推進課長

将来に向けた街づくり構想は、平成二十三年度に策定した第五次鱒ヶ沢

町総合計画の中で、向こう十年間の基本的な考え方を明らかにしています。

今回、世永議員が質問している人口減少、少子高齢化、施設の老朽化、防災対策等を考慮した対策は、総合計画の土地利用構想の中で、街づくりのランドデザインとして示しています。

この構想では、町全体を概ね六つのエリアに分け、自然的、社会的、経済的、文化的条件に考慮しながら均衡のとれた発展を図ることを基本理念としています。

この街づくりデザイン、構想は、お金も時間も相対的に要することから長期的な展望に立って総合的な対策が必要だと思っています。

問・施政方針に消防署新築を検討したいと第一番に出ています。この辺は、

どうなっていますか。

答弁・総務課長

消防署の移転については、基本的な用地選定の考え方として、津波の心配のない高台、投資額を抑えるために町有地、そして、緊急車両が出入りしますの見通しの良い道路の付近ということを考えて、用地の選定を絞り込んでいきたいと思っています。

問・町長はあちらこちらの会合で消防署を建てると話しているようですが、場所はまだ判断していないのですか。

答弁・町長

消防署の移転場所は、現在、何か所か思案していますが、今年中に決めたいと思っています。

問・資金のめどはあるのですか。消防署の移転には補助がないでしょう。移転費用は、自主財源ですか。

答弁・政策推進課長

使い勝手のいい起債を充当することで、県、国のほうと話をしています。

問・先ほどの齋藤議員の質問に町長は、幼保一貫教育をしたいというような話をしていますが、保育所の今後の見通しはどうなりますか。建て替えをするのか、移転するのか考えていますか。

答弁・町長

当然、こども園になれば建て替えも考えなければいけないと考えています。消防署もそうですが、役場も築四十年も経っていますので、そういうものを考えながら、ただばらばらに建てるのではなく、まとめるのはまとめて建て替えていきたいと考えています。

問・現在の場所から保育所を移動するということになれば、見通しはいつになりますか。

答弁・政策推進課長

消防署の問題もそうですし、保育所の件もそうです。要は財源の確保が一番大事になってきますので、財政運営計画上で今後検討していくということになると思います。



一戸千代久議員

六次産業の推進で地域再生を 〈答 各方面と連携し支援〉

六次産業推進化の計画は

問・六次産業とは、農林水産物の生産を主とする

一次産業、これらを原材料として加工する二次産業、そして、販売する三次産業、これらを掛けて表現した言葉です。

当町でも海の駅を利用した個々人の六次産業化は見えますが、市町村行政が、六次産業化に向けての補助制度、融資など、計画に大きくかわっていく必要があります。

六次産業化の推進で我が町の農山漁集落の衰退に歯止めをかけ、地域再生の一步になるようにしてほしいものです。

当町の六次産業化の取り組みの状況はどのようなものですか。
答弁・農林水産課長

当町では、あじ・彩・感で優良な取り組みが見られています。

あじ・彩・感の会員は、八十名ほどいますが、その四割が、漬物、惣菜、お菓子などの加工まで手を広げている状況にあります。

当町の取り組みの主流は、やはり意欲を持った生産者個人の六次産業化という流れにあると認識しています。

問・六次産業化の推進に行政としてどのようにかわり、この事業拡大のためどのような計画、検討をしていますか。
答弁・農林水産課長

個々の推進化に対しては、事業化に向けた助言、相談、県へのつなぎという形で支援していきたいと思えます。

六次産業化は、新たなビジネスの展開、新産業

の創出を図ることがねらいですが、町としても農林水産業、商工業、観光などの連携を視野に入れた取り組みを進めているところですが、

数年前、関係機関、個人などからなる地域資源活用推進協議会というものを立ち上げ、ヒラメのヅケ井を売り出しました。今では、町内に広まっています。これも一つの取り組みの成果だと思っています。

また、鱈ヶ沢町で水揚げされる利用が低い魚を何とか活用できないかというところで、今年度試作品を開発すべく取り組んでいるところです。

今後も数ある農林水産物の中からこれだというものを見極め、どのような形で関係機関と連携していけばいいのか更に検討していきたいと思っております。

意見・県と国は一生懸命だが、肝心のやるべき市町村が六次産業化に熱心でないとも言われています。難題はあると思いますが、町で継続的に生産加工できるものを把握して、ぜひ芽を出してほしいと思います。

国民年金後納制度の活用状況は

問・国民年金の後納期間が、これまで二年間しかありませんでしたが、平成二十四年十月から十年前までさかのぼって納付できるように期間が延長されました。

しかし、三年間の期限措置であり、十年分を納付すると百八十万円になります。負担の大きさが、後納制度が進まない大きな要因のようです。このため、上限を設けて貸し

付けする自治体も出ています。

町民の国民年金後納制度の活用状況はどうなっていますか。
答弁・税務町民課長

国民年金は、原則として二十歳から六十歳までの四十年間、加入が義務付けられています。もし、保険料の納め忘れなどでその期間に満たない場合、年金受給額が減ったり年金そのものを受給できなくなったりすることもあります。

平成二十三年に公布された通称年金確保支援法では、将来の無年金、低年金を防止し、国民の高年齢における所得の確保をより一層支援する観点から、平成二十四年十月から平成二十七年九月までの三か年の期限付きで十年までさかのぼって後払いができる、いわゆる後納制度が導入されています。

平成二十五年三月現在、鱈ヶ沢町民の利用件数は、七十五件となっています。

問・無年金者を一人でも少なくするため、行政として該当者の把握に努め、内容の周知と支援制度を検討できませんか。
答弁・税務町民課長

当町の無年金者は、平成二十五年四月現在でおよそ三百人と推定しています。

日本年金機構では、後納制度の対象となり得る方に国民年金後納保険料の納付可能期間延長のお知らせと、国民年金保険料納付申込書を送付しています。対象者がこの制度を活用することにより、無年金者の減少、また、年金受給額の増額にもつながりますので、今後はさらに関係機関と連携を強化し、広報等で情報提供をすることで無年金者が少なくなるよう努めています。

無年金者を抑制するための支援制度は、全国的に実施しているところは少数です。当町としては、支援制度の創設は考えていません。



長谷川統一議員

シルバー人材バンクの今後の展開は 〈答〉バンク登録者の人材確保に努力

シルバー人材バンクのシステムは

問・先般の広報あじがさわに、シルバー人材バンクが始まるとの記事が掲載されていました。

そこで、このシルバー人材バンクというものはどのようなシステムなのか、また、今後の展開はどのように考えているのかお答えください。

答弁・福祉衛生課長

六月の広報でシルバー人材バンク開設のお知らせをしましたが、現在、バンクへの登録者を募集しています。現在二名の方が登録しています。

シルバー人材バンクは、町民の方から草刈りとか除雪とかの依頼があった場合、その内容によりバンクに登録している方を依頼者に紹介するシステムです。

ムです。

料金は、基準額というものがありませんが、最終的には当事者同士で料金を決めていただくことにしています。

今後ですが、まず依頼者の要望に応えるために多くの方にバンク登録をしていただくことが第一だと思っています。よって、シルバー人材センターに登録していた方などに声をかけて登録をお願いしていかねばならないと考えています。

問・今後は、高齢者の社会貢献、社会進出を考えたおこななければならないと思います。シルバー人材センター、シルバー人材バンクなどは、社会福祉協議会で事務局を持つていることが多いようです。

これは、社会福祉法人であると非営利的なものが認められていますので、経費負担が一般企業でやるよりも少なくて済む点があるからだと思いますが、その辺の考えはどうでしょうか。

答弁・福祉衛生課長

シルバー人材センターがなくなつてから二年が経ち、いろいろ検討してシルバー人材バンクを立ち上げました。よって、バンクの今後の流れを、二年見て、その後、社会福祉協議会への移行などを考えていきたいと思

ます。

幼児医療の負担 手続きは

問・当町における幼児の医療負担は、どのようになつていきますか。また、手続きはどのような形になつていくのかお答えください。

答弁・福祉衛生課長

国民健康保険に加入している一歳未満児は、自己負担がありません。よって、病院の支払いもありません。

社会保険加入の一歳未満児、また、国保、社保加入の一歳から三歳児までは、自己負担分はいつたん病院で支払っていただけ、その領収書を役場に持ってきていただければ全額返還ということになります。

さらに四歳から小学校就学前までの児童は、自己負担分をいつたん病院で支払っていただきます。領収書を持ってきていただければ、通院の場合は、月千五百円、入院の場合は、一日五百円を超えた分が返還されることとなります。

意見・鱒ヶ沢町の場合、利用者がお金を払つて領収書で引きかえる方式となつていくのかお答えください。

なつているため、親御さんにしてみれば負担を感じている方も多いと思います。

システムは、各市町村によって違います。五所川原市の場合は、病院から市役所に報告が来て、その金額を市役所から個人の口座に振り込むというシステムを取っているようです。

子供に関することです。他町に引けを取らない行政サービスをお願いしたいと思います。

第五次総合計画の 進捗状況は

問・昨年の三月に、町の長期計画である第五次鱒ヶ沢町総合計画が策定されました。この計画に沿つて、各課がいろいろな仕事をこなしていかのどだと思います。

そこで、この計画の現時点での進捗状況は、どのようになつていますか。また、今後、この計画の実現に向けてどのようにしていかのどをお答えください。

ください。

答弁・政策推進課長

町の総合計画は、計画期間として基本構想が平成二十三年度から三十二年度までの十年間、基本計画が前後期五年間、実施計画が三年間を単位としてしています。

ご質問の進捗状況ですが、毎年度、実施事業の検証、評価をしながら取りまとめていくものだと考えています。ただ、評価システムの導入が遅れており、今のところ進捗状況は取りまとめていないのが現状です。

よって、早々にシステムを導入し、平成二十三年度から二十五年までの実施計画の部分の評価、検証していきたいと思っています。

なお、今後は、平成二十六年から三か年の実施計画がスタートします。現在の三か年の実施計画の検証、評価を踏まえたうえで、二十六年度の実施計画を策定したいと考えています。

特集

まち再生のために

Vol.5

つがる森林組合組合長

本間 家 大さん

この人に聞く

森林組合とは

地域の森林所有者が組合員となって組織されている協同組合。植林、間伐などの森林施業の受託、林産物の販売、木材を手入れするために必要な作業道の設置など様々な事業を行っています。



Profile

つがる森林組合（平成11年4月、西津軽旧8町村が合併して発足）組合長。当町小の畑在住。

地域林業振興のキーワードは

地元の人々の関心と熱意

特集「まち再生のために〜この人に聞く〜」は今回が第五回目。当町の林業の現況などについて、つがる森林組合組合長の本間家大さんにお話を伺いました。聞き手は、一戸千代久広報委員、事務局です。

Q この組合では、何人の人が働いているのですか。本間組合長・二十人以上の作業班員がいます。みな複数の専門資格を持っています。三十代から四十代の人が多いですね。Q 雇用の面では、大きな役割を果たしていますね。ところで、農業、漁業などの第一次産業は、多くの難題を抱え、将来的に大変厳しい状況に置かれていると思います。林業の現況はどうですか。本間組合長・昭和三十九年に木材の関税が撤廃されて以来、多くの輸入木材が入ってきて国内の木材の価格は低迷し、需要も落ち込みました。

最近では、外材も昔ほどの輸入されなくなり、国内の木材の価格も微増していますので、改善の兆しも見えなくありません。Q 課題は、何ですか。本間組合長・つがる森林組合が発足した当初は、七里長浜港を活用して、津軽地域の林業の振興を図ることを目的に掲げました。

これまで七里長浜港から津軽地域の木材を中国に二、三度輸出しましたが、大型船が入って来られないということで、現在は、主に野辺地からこの辺の木材を中国に輸出している状況にあります。七里長浜港の整備が進

を組んで里山の整備を進めるには、より効率的な林業行政の方向性を見いださなければなりません。これは、町村の協力がなると難しい。組合独自では、容易ではないことが実際あります。林業に対する専属職員、知識豊かな職員を養成してもらいたいと思います。それと最も大切なことは、地元の人々の熱意ですね。模範的な例が種里地区です。種里地区では、複層林（異種樹木で構成される人工林のこと）としてヒバの植林を行いました。今では、立派なヒバが育っています。県、国の補助を受けて事業を展開するには、また、林道に付帯する作業道などを作るには、地元の人々の同意が不可欠ですが、種里地区の人はよく相談に訪れていましたし、積極的でした。地元の人が地元の山に関心を持つことが、一番大切なことだと思います。